

ラウンドテーブルディスカッション

これでよいのか、学校でのICT活用 ～社会に出て必要な資質・能力とICT活用～

日 時 2018年1月27日(土) 13:30～16:30

会 場 国際大学グローバル・コミュニケーションセンターホール
(東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル 2階)

主 催 日本教育情報化振興会 教育ICT 課題対策部会

協 力 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

1. 開催趣旨

学校では、徐々にICT環境の整備が進められており、授業でのICT活用、校務でのICT活用が行われています。授業においては、「よりわかる授業」を目指して電子黒板や書画カメラなどのICT機器の活用方法が確立しつつあります。一方、学習指導要領等においては、情報活用能力、あるいは、思考力・判断力・表現力などの資質・能力の育成の必要性が示されています。このような能力の育成にICTは有効と言われていますが、その方法はまだ確立されているわけではありません。

新学習指導要領には、「これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働よりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育過程の実現が重要となる」と書かれています。学校としても、社会に出て必要となる資質・能力の育成を図る教育を行っていく必要があり、そのためのICT活用について考えていく必要があります。

ICTの活用方法については、学校と社会で当然違いがあります。しかし、お互いに取り入れるべきところがあるのではないのでしょうか。このディスカッションでは、社会で必要な資質・能力とこれを支援するためのICT活用について、学校と社会がお互いに学ぶべきことを議論していきたいと思えます。

2. 参加対象者

- 教育委員会情報教育担当者、学校教員など教育関係者
- テーマに関心がある一般社会人、学生
- 日本教育情報化振興会会員

3. プログラム

【ラウンドテーブルディスカッション】

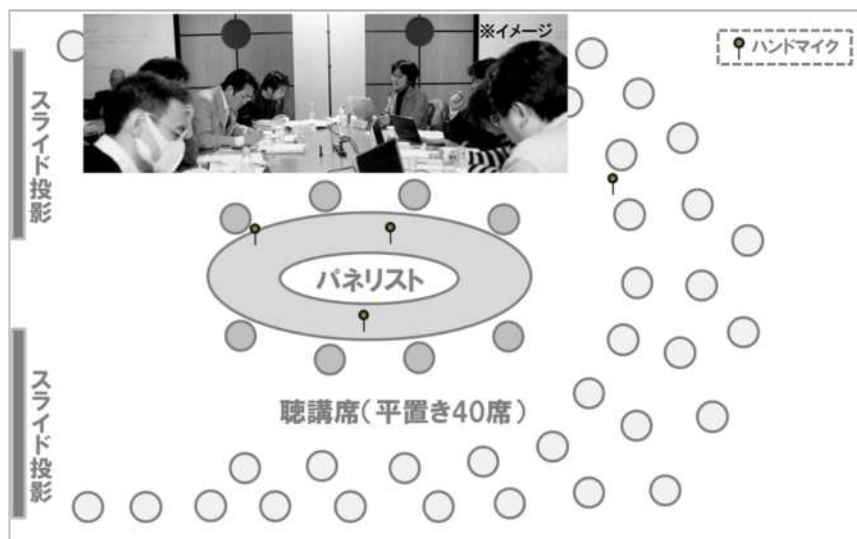
時間	内容 (※役職、敬称略 ※プログラムは予告なく変更になる場合があります)
13:00	(受付開始)
13:30	■ 開会 主催者挨拶 砂岡 克也 (日本教育情報化振興会・教育 ICT 課題対策部会 部会長)
13:35～ 13:55	■ はじめに 山口 亮 (日本文教出版) <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報社会と教育情報化の展望 ・ 学校での ICT 活用の地図 ・ 現在の一般的な学校での活用シーン ・ 導入された学校 ICT 機器の利用率
13:55～ 15:30	■ 討論 「これでよいのか、学校での ICT 活用」 (150 分) ～社会に出て役立つ資質・能力と ICT 活用～ ファシリテーター 山口 亮 (日本文教出版) 討論者 学校代表 <ul style="list-style-type: none"> ・ 西尾 琢郎 (横浜市立桜台小学校 校長) ※民間出身校長 ・ 西田 光昭 (柏市教育委員会 教育専門アドバイザー) 大学代表 <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊福 晋平 (国際大学 GLOCOM) ・ 村上 祐子 (東北大学大学院文学研究科) 社会人代表 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鈴木 けんぼう (渋谷区議会議員) ・ 神谷 加代 (教育 ICT ライター) ・ 矢吹 正徳 (日本教育新聞社 編集局長) ・ 榎本 松喜 (シャープマーケティングジャパン 部長) ・ 砂岡 克也 (富士ソフト/教育 ICT 課題対策部会長)
15:30～ 15:45	【第 1 部】 社会での ICT 活用、学校での ICT 活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会では「知識・技能」だけでなく「思考力・判断力・表現力」を活かして仕事をしている。 ・ 学校での学びで、思考力・判断力・表現力はどこまで身に付けさせられるか そのために有効なツールはあるのか ・ ダイバーシティ、習熟度、学力差など、個に応じた学習への ICT 活用
15:45～ 16:15	【第 2 部】 学校での ICT 活用の在り方とその実現のためのはたらきかけ方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での ICT 活用の在り方の整理 (第 1 部の議論のまとめ) ・ この ICT 活用の在り方を実現するためには、誰が誰にどう訴えていけばよいのか
16:15 ～16:25	■ まとめ 豊福 晋平 (国際大学 GLOCOM)
16:25 ～16:30	■ 閉会 砂岡 克也 (富士ソフト/教育 ICT 課題対策部会長)

【懇親会】 17:00～19:00 / 中国茶房 8 六本木店

4. ディスカッションの進め方

社会でICTを駆使する職務に携わっている方々、自治体や学校で教育ICTの活用を推進されている方々に討論者として是々非々で自由闊達なラウンドテーブルディスカッションを行っていただきます。

傍聴者として参加していただく方々には、ラウンドテーブルのまわりに着席していただきます。発言していただく時間も取りますので、是非討論にもご参加ください。



会場レイアウトイメージ

以上